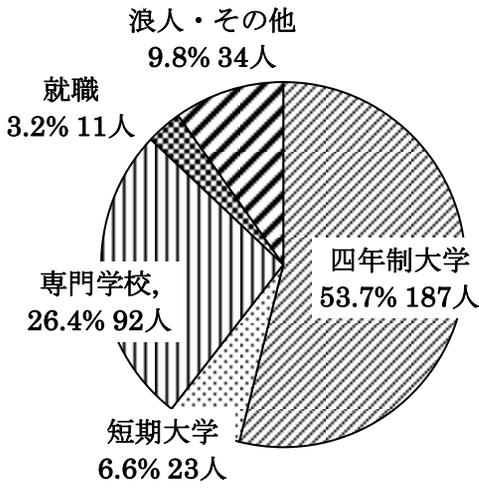


学校新聞 芥川

37期生進路状況

進路指導部長

今春卒業した37期生の進学先は、大学進学者が54%、短大が7%、専門学校26%とほぼ昨年同様の割合でした。学部・学科やキャンパスの新設などの変化を生徒たちが敏感に感じ取り、受験する大学名にもさらに変化が見られます。しかし、私立大学入学定員厳格化の影響を受け、全体的には厳しい結果となりました。中でも近畿圏の主要私大合格数が減少し、早めの受験対策の必要性が感じられました。そのような中でも努力を重ね、国公立大学に2名合格し、在校生に進学先の可能性を示してくれたことは喜ばしく思います。また5年目となったグローバル専門コースは、多くの生徒が外国語・国際系学科への進学を果しました。看護系・理系コースからは看護・医療系の学校へ進み、理系コースからは物理、化学、機械、電子など様々な学科に進学しています。各コースの充実を感じる結果となりました。就職は希望する全員が就職を決め、地元高槻市や近隣地域・県外など日本全国で幅広い分野の職場でがんばっています。一方、自分の得意分野をさらに深めたい、また、進学をめざしてもう一年がんばるという道を選んだ生徒もやや増加しました。



37期生は、校内で実施する進路説明会・模試の出席率も高く、生徒と教員、保護者の皆様が一丸となって進路と向き合い、目標に近づいていきました。また進路に対してのアンケート結果も満足度が高く、充実した3年間を過ごしてくれたのではないかと思います。残念な結果になってしまった生徒もいましたが、卒業式では皆晴れやかな顔をしていました。再受験となった生徒もきつと来年良い報告をしてくれるものと願っています。

先輩の話を聞く会

報告 進路指導部

2月25日(月)、進路が決まった3年生の代表18名が、1年生(39期生、現2年)の各HR教室に来て、話をしてくれました。



内容は「高校時代にどんなことをしたか」「進路について考え始めてから目標の設定、目標達成までの経緯」「努力したこと、つらかったこと、うれしかったこと」「先輩へのメッセージ・アドバイス」などについてです。身近な先輩の体験談に、1年生は熱心にメモを取りながら聞いていました。先輩からは、「何度も何度もオープンキャンパスへ行って、学びたいことや通えるところかを考えた」「平日6時間、休日10時間勉強した」「部活動を頑張り、それが受験勉強に活きた」「単語帳にない英単語まで覚えた」「塾に通っていない分、自分で計画を立てて勉強に取り組んだ」「自分の好きなこと、やりたいことから学校を決めた」「何冊も教材を買うのではなく、1冊をとことん何回も解いた」などの熱い言葉が寄せられた一方、「部活動を優先して勉強がおろそかになり後悔した」「滑り止めが滑り止めにならなかった」など、生々しいお話もありました。

1年生の感想には、「オープンキャンパスへ行くことや英単語を覚えることがどれだけ大切かわかった」「成績がなかなか上がらなくても最後まで諦めずにやり遂げるのがすごい」「具体的な勉強法を教えてもらえてよかった」「高校受験と大学受験の倍率は全然違うことを知った」「3年生になってから勉強する」では遅い」「1年生から勉強を始めていけばよかった」など、それぞれの高校生活を振り返りながら、進路や勉強のことを考えるきっかけになった人もいたようです。

前期生徒会執行部が発足 特別活動指導部長

4月26日(金)前

前期生徒会役員選挙が行われました。体育館での立会演説会では、立候補者が生徒会活動への意欲や思いを訴えました。引き続き、各クラスで投票を行い、選挙管理委員による厳正な開票作業の結果、全員信任されました。生徒全員が生徒会の構成員です。みんなで新執行部を盛り上げていってほしいと思います。



前期生徒会執行部

- 会長
- 副会長
- 副会長
- 書記
- 書記
- 会計
- 会計

1年生 交通安全講習会

生徒指導部

4月9日(火) 新入生オリエンテーションの時間に、茨木ドライビングスクールの様にお越しいただき、交通安全についての講習をしていただきました。生徒は、自転車を使用することが多いので、真剣に話を聞いていました。自転車で移動する機会が増え、行動範囲が広がることにより、事故に巻き込まれる(被害者)になるだけでなく、事故を起こしてしまう(加害者)になってしまふ可能性があることを理解できたと思います。



- 本日の講習ポイント
- 1.被害者にならない注意
 - 2.加害者にならない注意

芥川高校後援会にご協力ください

後援会は、会費・寄付金・募金を集め、芥川高校の生徒のために支援してくださっています。後援会の活動にご理解とご協力をよろしく願います。

